

## グループの発表

グループごとに考えたプロジェクト名や目指すべき方向性、実施内容について発表してもらいました。



**深川地区の活性化プロジェクト**  
 体育館や中深川駅、周辺の道路も含めてトータルで考えた方がいい。建て替えるからこそりを多くしたい。スポーツ以外の場面でも人が集まれるような施設にはどうか。



**KoYo BIG Fes**  
 若者と高齢者の方がどちらも来たいと思うものにする。いろんな人が興味を持ってもらえるようなイベントをつくりたい。

**みんなで使おう芸備線！！**  
 ～もっと便利な芸備線にしよう～  
 芸備線の駅まで行くことが大変なため、パーク&ライドや駅までのバスがあるとよい。  
 高陽・白木を知ってもらいイベントや地域の特産品を駅で販売することで、利用が促進されるのではないかな。



**高陽ゲートパーク化計画**  
 寺迫公園とフジグランの近くにある公園でイベントができればいい。神楽など地域の人が発表できることが大事。近隣や遠方からも来やすい環境やイベントをつくりたい。



**芸備線の活性化**  
 芸備線の利便性向上、利用客の増加を目指したい。  
 駅1つ1つに話題性をつくり、利用客を増加させていきたい。



## 鉄道「X」

芸備線の利用促進は地域の活性化につながる。  
 外から来た人に、どこかいいところがあるかと聞かれるが、交通手段がないため、努力していく必要がある。



**#白木町広報課**  
 まず知ってもらわないといけない。  
 各地域のSNSも使いつつ、一体的に情報を発信することでみんなの目につくようにするというのが一番大事。

## 白木自然発見

白木町は山が非常に多く、それぞれが魅力的。しかし、魅力が十分に活かしきれていないので、自然の魅力を内外に発信していきたい。  
 山の利用者と登山者を増やすために、登山のインフラを整備する。そのために周知や収益が上がる仕組みがあればいいのではないかな。



**資源の活用（意識改革）**  
 どの世代の人も意識を変える、意識改革をしていく。お互いの意見をしっかり入れて意識を変えて使える行動を持つのが一番大事。



## 次回

### 第3回 未来の地域の姿を実現するための 取組・アイデアの検討！②

(高陽地域)

日時：11月24日(日) 14:00～(2時間程度) 場所：高陽公民館 研修室1

(白木地域)

日時：11月30日(土) 18:00～(2時間程度) 場所：白木公民館 第1研修室

令和6年10月  
 No.02

広島市地域活性推進課  
 Tel:082-504-2837  
 Fax:082-504-2029

# 高陽地域・白木地域 活性化プラン作成検討 ワークショップ ニュース



## 高陽・白木地域の地域ごとのビジョンや取組について考える 第2回目のワークショップを開催しました！！

高陽・白木地域の『活性化プラン』の作成に向け、両地域のお住まいの方に参加いただき、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」などをテーマとして、全4回(両地域合同開催、地域別開催含む)のワークショップを行っています。第1回目は、「両地域の“これまで”と“未来”について語る」をテーマに両地域の方向性について、検討してもらいました。

第2回目は、9月28日に白木地域、9月29日に高陽地域で開催しました。計38名(高陽地域：22名 白木地域：16名)が参加し、「未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討！」をテーマに、地域ごとの目指す方向性やその実現に向けて取り組みたいことを対話いただきました。

### ワークショップの予定

7月 **第1回**(2地域 合同開催)  
 両地域の“これまで”と“未来”について語る！

9月 **第2回**(地域別で開催)  
 未来の地域の姿を実現するための  
 取組・アイデア検討！①

11月 **第3回**(地域別で開催)  
 未来の地域の姿を実現するための  
 取組・アイデア検討！②

1月 **第4回**(2地域 合同開催)  
 これから目指すまちの姿の実現に向けて！

### ～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明
3. WS 全体運営者の紹介
4. 前回の振り返り
5. ワークショップ(ワールドカフェ)
  - ・方法説明
  - ・アイスブレイク:名札作成と自己紹介
  - ・テーマ1:地域の将来像を整理
  - ・テーマ2:将来像を実現するために、取り組むべきことの整理
  - ・テーマ3:テーマ2の中で取り組みたいことの整理  
 <話したいテーマでグループ分け>
  - ・チームに分かれて、プロジェクトシートの作成
  - ・まとめ
  - ・発表
6. 閉会

### 活性化プランのとりまとめ

# 地域ごとの“将来の目指す方向性”や“その実現に向けた取組”について話し合いました！

## 当日のワークショップ (WS) の流れ

当日は、第1回目のWS結果を踏まえ、地域の将来像を整理し、その実現に向けて、必要となる取組や取り組みたいことを対話しました。また、取組のテーマ(プロジェクト)ごとにチームに分かれ、実施内容を検討し発表いただきました。



## 地域の将来像・プロジェクトの検討

第1回目のWSで考えた「両地域の目指すべき姿・方向性」をもとに、各地域の将来像をグループで整理し、全体で地域の目指す方向性を確認しました。そして、それらを実現するために地域で取り組みたいこと、必要となる取組について対話してもらい、特に地域で取り組みたいテーマごとにチームに分かれ、取り組む内容=プロジェクトを考えました。高陽地域は3テーマ・5チーム、白木地域は4テーマ・4チームに分かれて、プロジェクト名、目指すべき方向性や目標、実施内容について話し合い、プロジェクトシートを作成しました。



### 《地域の将来像》

### 《プロジェクト概要》

**高陽地域**

両地域の目指すべき姿(第1回検討内容)

- 住みやすいまち
- 高齢者に住みよいまちづくり
- 交通の整備
- 若者と高齢者のバランス
- 生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域
- 戻ってきたくなるような地域
- 安心安全のまちづくり
- 災害に強いまち

将来像を踏まえ、取組のテーマを検討

テーマ	プロジェクト名	目指すべき方向性・目標	実施内容・取組内容
芸備線の活性化	みんなで使おう芸備線!! ~もっと便利な芸備線にしよう~	● 各JR駅までのバス(ジャンボタクシー) ● パーク&ライド(駅付近) ● 生活バスのサブスク化 等	・高陽・白木でのイベント ・芸備線スタンプラリー ・JRとの地域イベント
みんなが集まれるイベントを企画する	芸備線の活性化	● 芸備線の利便性を向上する	・話題性で人を集める ・駅のまわりへ飲食店を誘致 ・駅周辺の整備を行う ・各地域の特産品をリンクしあった地域おこし(三田のイチゴ、井原のジビエ 他) ・中間駅をパーク&ライドの機能を持つ駅とする。 等
高陽体育館の建替え	KoYo BIG Fes	● 若者を呼ぶ ・地域の特性を生かしたもの ● 自然を生かす ・SNS等の活用により広報する ● だれでも参加できる環境づくり 等	・音楽フェスとセットで地域の伝統“神楽”競演(高陽地区) ・荒谷山雲海ツアー ・有名・著名人を呼ぶ
	高陽ゲートパーク化計画	● 異世代交流できる場所づくり ● 近隣の方にも喜ばれるイベント	・本、ぶつぶつ交換 ・クリスマスマーケット ・Cafe, Wine, ハイボール ・フリーマーケット ・ドリミネーション的な? インスタ映え。映える背景 ・MUSIC ステージ発表 ・花火
	深川地区の活性化プロジェクト	● 建替えるからこそ「ウリ」を多くしたい ● 子供も大人も集まれる場所 ● 芸備線との連携 ・可部とのつながり	・フットサル、ボルダリングなど他の地域でできないスポーツができる ・実業団にも使ってもらえるように ・避難所としての機能 ・エルモ・こども食堂(社協事務所)をいらせる ・駐車場の共同利用 等

**白木地域**

- 生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域
- 住みやすいまち
- 自然との融合を図れ、人々が互いに協力して活気あふれる、住むのが楽しいまち
- 戻っていきたくなるような地域として、地域の活性化を進めていく

将来像を踏まえ、取組のテーマを検討

テーマ	プロジェクト名	目指すべき方向性・目標	実施内容・取組内容
自然の有効活用	白木自然発見	● 登山者の増加 ● 山の利用者の増加 ● 山の整備	・山ツアー ・山のPR ・登山道の整備 ・バイオトイレの整備 ・キャンプ ・山イベント ・駐車場(休耕地の活用) ・ホテル ・子供山イベント ・川の景色(中三田) ・井原(桜まつり)
既にあるものを活かした取組	資源の活用(意識改革)	● 意識を変える	・住居:空き家の有効活用 ・どの世代の人も意識を変える ・支える仲間:若い人(既にいるひと)、外から来たからこそ見つけられる魅力 ・温故知新(古いこと、新しいことを聞き入れた中で1つのことを進める) 等
情報発信	#白木町広報課	● 知らないを知ってもらう ● 町全体をアピール ● いろいろな世代に楽しめるように情報発信 ● その地域の一つのシンボルになる 等	・多くの人の目につくように ・公式ハッシュタグ ・白木町全体のSNSや会報 ・SNS・インターネット使わない層にも子供などから情報入る ・各地域のSNSなどもまとめて出す(今はバラバラ) 等
芸備線の活性化・利用促進	鉄道「X」	● テレビ付き電車 ● いつでも、どこでもサッと乗れる環境にする ● 駅までの交通手段を作る 等	・駅舎を利用(カフェ等) ・駅前に魅力ある施設を作り、人を集める ・臨時列車を仕立て人員輸送する(ネコ駅長) ・駐車場整備 ・ネコ駅長を活用したまち ・駅周辺のリーフレットやマップ作成。

※詳細は前回ニュース参照